

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 8月 22日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
東京都板橋区小豆沢3-6-10

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
オリエンタル酵母工業株式会社  
代表取締役社長 新井 秀夫

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	オリエンタル酵母工業株式会社 代表取締役社長 新井 秀夫
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都板橋区小豆沢3-6-10

1 事業所の概要

事業所の名称	オリエンタル酵母工業株式会社びわ工場					
事業所の所在地	滋賀県長浜市川道町759-6					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	9	9	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 他に分類されない食品製造業
事業の概要	フラワーペースト、パン品質改良剤、ベーキングパウダー、粉末かん水の製造					
従業員の数	97	人	作業時間	20	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	4	台	熱源設備	4	台
	照明設備	970	台	コンプレッサ	7	台
			空気調和設備	64	台	その他

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2023	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了年度	2023	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

◎日清製粉グループ 環境課題中長期目標  
 (1)CO<sub>2</sub>排出量の削減(長期、中期):(2013年度比)  
 ・2050年までにグループの自社拠点でCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを目指す  
 ・サプライチェーンにおけるCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組む  
 ・2030年までにグループの自社拠点でCO<sub>2</sub>排出量50%削減を目指す  
 (2)以下、省略

◎オリエンタル酵母工業グループ環境基本方針  
 環境保全への取組は、企業自らの存在と事業活動に必須の要件であり責務です。  
 ~省略~  
 また、事業活動において発生するCO<sub>2</sub>、廃棄物等は、目標を定めて削減活動を行い環境負荷の低減を推進します。

◎オリエンタル酵母工業グループ環境保全自主行動計画  
 当社グループは以下の自主行動計画を制定し、地球規模での環境保全を推進します。  
 1. 省エネ等のCO<sub>2</sub>削減施策を更に推進します。  
 2. 以下、省略

◎オリエンタル酵母工業びわ工場 環境基本方針  
 「人と地球にやさしい生産活動を推進する」  
 事業活動を通して人と地球にやさしい環境保全活動を推進するとともに、環境負荷の低減や環境保全体制の整備を行う  
 <<環境管理目標>>  
 1. エネルギー見える化活動を通じてCO<sub>2</sub>排出量の削減  
 2. 以下、省略

2 取組の推進体制

びわ工場環境管理組織

環境管理に関する 活動業務を統括する	環境保全統括者	びわ工場 工場長
環境管理に関する 活動業務を推進する	環境保全担当者	びわ工場 設備担当課長
環境管理に関する 活動の確認と計画等 の承認を行う	環境保全委員会	びわ工場 管理職 設備担当者 製造課指導職 公害防止管理者・エネルギー管理員

3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

2014年度より省エネ対策に取り組み実施した。以下、実施した取り組み内容の一部

- ・製造時間に合わせたコンプレッサーの運転時間の見直し
- ・コンプレッサーを定速機からインバーター機に更新した
- ・空調の再熱制御に使用している電気ヒーター方式から冷媒レヒート型の空調機に更新した
- ・高COP空調機への更新した
- ・空調方式を一台の大型空調機から小型空調機の複数台方式に変更し、運転方法を見直した。
- ・冷却水用のチラーをモジュール方式のチラーに更新した
- ・冷却水に地下水を活用し、チラーの負荷を低減させチラーの稼働時間を削減した
- ・工場照明のLED化(2021年3月末時点LED化率59.3%)
- ・製造時間に合わせた給排気ファンの運転方法の見直し及びインバーター化を行った
- ・駆動モーターIE2からIE3モーター及びPMモーターに更新した
- ・プロパンガスボイラーから都市ガスボイラーへ更新した
- ・ディスク型スチームトラップからピンチスチームトラップへ更新した
- ・蒸気ドレンを回収し廃熱利用を行った
- ・太陽光発電設備(オンサイト発電 190kw)を導入した

以上の取り組み及びその他の取り組みによって、2022年度末(令和5年3月末)にて電気使用量1,137,227kwh、都市ガス使用量95,190Nm<sup>3</sup>を削減した(2013年度比)  
 その結果、温室効果ガス排出量42.88%削減を達成した。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	ユーティリティ設備の省エネ活動及び設備更新を推進し電力使用量を削減	令和5年	前年度より89,744kWhの削減と
2	設備導入	工場照明のLED化による電力使用量を削減: LED化率67%	令和5年	61.4%から66.7%までLED化を進めた
3	プロセス改善	蒸気ドレン及びブローの廃熱利用による都市ガス削減	令和5年	削減活動を継続して行った
4	設備導入	加温方式を直接蒸気投入方式から熱交換器導入による間接加温方式に変更	令和5年	前年度より4,698Nm <sup>3</sup> の削減と
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>令和4年度(2022年度)の温室効果ガス排出量実績(2,052t-CO<sub>2</sub>)から40t-CO<sub>2</sub>を削減した2,012t-CO<sub>2</sub>を令和5年度の目標とする。 電気事業者の排出係数は令和4年度を基準とする。</p>	<p>電力、都市ガス使用量は前年より削減出来ているが、生産量の増加に伴い削減量が抑えられている。また、電力のCO<sub>2</sub>排出量係数が上昇したことも増加の要因となっている。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(2023)年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,384	1,338			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	2,013	2,151			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	2,013	2,151			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0			
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0			
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>	0	0			
HFCs	t-CO <sub>2</sub>	0	0			
PFCs	t-CO <sub>2</sub>	0	0			
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0			
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0			
エネルギー等原単位の推移		0.07005	0.06635			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	2030年度までに水素ガスボイラーの導入を検討する
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	190 kW	水力・小水力	0 kW	地熱	0 kW
太陽熱	0 kW	バイオマス	25 kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2023)年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	381,738	385,460				
上記のうち自家消費量	kWh	274,231	270,977				

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
			(2023)年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	2,056	2,406					
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>	2,056	2,406					
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh	0.311	0.434					
特記事項								

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
			(2023)年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>	0	0					
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>	0	0					
特記事項								

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				(2023)年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
	保有車輛の数	台	0	0				
	上記のうち 次世代自動車等の 数	台	0	0				
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	SDGs	2040年までに工場の水使用量原単位を2021年度比で20%削減する	R4~	基準年度より99.4%に削減
2	3R	2030年度までに製品に使用される化石燃料由来のプラスチック使用量を2019年度比で25%以上削減する	R4~	基準年度より104.8%に増加
3				
4				
5				